## 事業所における自己評価結果

事業所名

わくわくハウス スポーツ未来校(放課後等デイサービス)

実施年月日 :

利用児童数 : 回収数 : 8

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0		物を移動させてスペースを確保し、効率的に利用している。	今後もスペースの確保やレイアウト変更を行い、より効率的で 快適な環境づくりを進めます。
環	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0		職員の配置数は日によって不足する場合があるが、足りている 時もある。	職員配置の状況を定期的に見直し、必要に応じて柔軟に対応 できる体制を強化します。
<sup>、</sup> 境·体制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された 環境になっているか。また、事業所の設備等は、 障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達 等、環境上の配慮が適切になされているか。	0		現状では最善を尽くしているが、場所の見える化が必要との意 見あり。	今後、環境の見える化を進め、より一層のパリアフリー化と情報 伝達の工夫を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0			清潔さを保ちつつ、こどもたちの活動に適した空間作りを引き続き行い、衛生管理を徹底します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使 用することが認められる環境になっているか。	0		必要に応じて、別室を使用することができる環境が整っています。	こどもたちが個別に静かな空間を使用できるよう、適切な部屋 の確保と環境作りを引き続き進めていきます。
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	0		業務改善のためのPDCAサイクルに関して、ミーティングを通じて職員が積極的に話し合いに参加しています。	引き続き、全職員が業務改善に参加できるよう、定期的なミー ティングで意見交換を促進します。
		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を 把握する機会を設けており、その内容を業務改 善につなげているか。	0		保護者向け評価表を通じて、保護者の意向を把握しており、そ の内容を業務改善に活かしています。	保護者の意見を反映し、業務改善に繋がるよう評価表を定期 的に見直し、適切な対応を行います。
業務改善		職員の意見等を把握する機会を設けており、そ の内容を業務改善につなげているか。	0		職員はミーティングを通じて意見を交換し、業務改善カードの記入や朝礼での提案が行われています。	職員の意見を積極的に取り入れ、業務改善に繋げるため、ミーティングや朝礼での意見交換をさらに活性化します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか。		0	特にご意見はありませんでした。	今後、外部評価をより積極的に取り入れ、業務改善に役立てる ための体制を強化していきます。
		職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	0		動画研修や他の事業所での研修機会があり、資質向上のため の研修は確保されています。	引き続き、研修機会を提供し、職員のスキル向上をサポートします。今後も研修内容を充実させます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0		支援プログラムは、いつでも確認できる環境に整備されています。	支援プログラムを引き続き公開し、職員が簡単に確認できる環 境を維持します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	0		こども一人ひとりに合わせたアセスメントが行われ、放課後等ディサービス計画が作成されています。	引き続き、こども個別のニーズに合わせたアセスメントを行い、 サービス計画を適切に作成します。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、 児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの 支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの 最善の利益を考慮した検討が行われているか。	0		こどもの様子や意見を聞き取り、ミーティングで共有し、共通理解のもとで放課後等デイサービス計画を作成しています。	こどもの最善の利益を考慮し、引き続き職員間で情報を共有 し、協力して支援計画を策定していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	0		放課後等デイサービス計画は職員間で共有され、計画に沿っ た支援が行われています。	今後も計画の共有を徹底し、全職員が一貫した支援を行えるように努めます。
適切な支援	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0		こどもの適応行動の状況は、標準化されたツールや日々の行動観察などで確認しています。	引き続き、標準化されたツールと日々の観察を組み合わせて、こどもの適応行動を正確に確認していきます。
坂の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	0		放課後等デイサービス計画には、支援内容が適切に設定されています。	今後も「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」等を意識し、こどもに最適な支援内容を設定し続けます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0		活動プログラムは、チームでローテーションを組んで立案しています。	引き続き、チームでの協力を強化し、効果的な活動プログラム の立案を進めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	0		活動内容はカレンダーで管理し、こどもが飽きないように様々な 活動を取り入れています。	今後もカレンダー管理を活用し、こどもたちの興味を引き続き大切にした多様な活動を提供します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われ ているか。	0		個別活動と集団活動は、こどもの状況に応じて適宜組み合わせて行っています。	引き続き、こどもの状態に合わせた個別と集団活動をバランス よく組み合わせ、支援を行います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	0		支援開始前に打ち合わせを行い、支援内容や役割分担を職員 間で共有しています。	今後も支援前のミーティングを徹底し、職員間の連携を強化することで、より良い支援を提供します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付い た点等を共有しているか。	0		支援終了後には毎日振り返りを行い、ミーティングやグリッ ティーを活用して情報を共有しています。	引き続き、振り返りの場を継続し、職員間の共有を徹底すること で、支援の質向上に努めます。
適切な支援	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	0		支援日報を毎日記録し、職員間で共有することで、支援の検 証・改善につなげています。	今後も記録の徹底を継続し、支援の質向上に向けた振り返りと 改善を行っていきます。
(援の提供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサー ビス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見 直しを行っているか。	0		半年に一度のモニタリングを実施し、計画書を適切に見直し、 支援につなげています。	引き続き定期的なモニタリングを徹底し、こどもの状況に応じた 適切な計画の見直しを行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	0		ガイドラインに基づき、基本に忠実な支援を実施しています。	引き続き、4つの基本活動を適切に組み合わせ、こどもに最適な支援を提供していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための 支援を行っているか。	0		活動や宿題の促しは行うが、最終的な判断はこども自身に委ね、対話を重視し考えを尊重している。	こどもの自主性を大切にし、自己決定の機会を増やす支援を継 続していきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく 理解した者が参画しているか。	0		サービス担当者会議や関係機関との会議には、児童発達支援 管理責任者や管理者が出席している。	引き続き、こどもの状況を的確に共有できるよう、適切な職員が 会議に参画してまいります。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携 して支援を行う体制を整えているか。	0		関係機関との連携体制が整っており、適切に対応できている。	今後も関係機関との連携を強化し、支援の質を向上させるため の情報共有を徹底していきます。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	0		学校との情報共有や連絡調整を職員全員で行い、送迎時や必要に応じて適宜確認している。	今後も学校・保護者との連携を強化し、情報共有の精度を高めることで、より円滑な支援を目指します。
関	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共 有と相互理解に努めているか。	0		必要に応じて保育所や幼稚園、他の支援機関との情報共有を 行っており、共有はされていると感じている。	今後も積極的に関係機関との情報共有を進め、円滑な連携を さらに強化していきます。
係機関や保	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0		学校卒業後の移行の際、必要な情報提供を行っている。	卒業後のスムーズな移行を支援するため、今後も継続して情報 提供を徹底していきます。
護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、 必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を 受ける機会を設けているか。	0		地域の児童発達支援センターと連携し、研修やスーパーバイズ の機会を設けている。	今後も地域の支援センターとの連携を強化し、職員のスキル向 上に繋げていきます。
携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		0	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会は設けられていない。	今後、地域の放課後児童クラブや児童館との交流機会を増や し、地域との連携を深めていきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0		児童発達支援管理責任者が積極的に協議会等に参加しています。	引き続き、児童発達支援管理責任者が協議会に参加し、最新 の情報を施設に反映させます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0		送迎時や連絡帳、電話で保護者とこどもの状況や課題を都度 伝え、共通理解を持っています。	今後も、送迎時や連絡帳、電話での情報共有を継続し、保護者 とのより良い連携を強化します。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0		家族からの相談があった場合に、具体的な支援方法を提案しています。	今後、家族支援プログラムや研修の機会を増やし、家族への支援をさらに強化します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	0			引き続き、利用者やご家族に対して丁寧で分かりやすい説明を 行い、信頼関係を築いていきます。
保	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、 こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の 利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家 族の意向を確認する機会を設けているか。	0		こどもや保護者の意向は面談を通じて話し合い、確認しています。	今後も定期的に面談を実施し、こどもや家族の意向を尊重した支援を心掛けます。
体護者への説	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援 内容の説明を行い、保護者から放課後等デイ サービス計画の同意を得ているか。	0		保護者から「放課後等デイサービス計画」の同意を得ています。	今後も支援内容の説明を丁寧に行い、保護者との同意を確実 に得て支援を進めます。
明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行って いるか。	0		保護者からの子育でに関する悩みには電話や面談で適切に対応しています。	引き続き保護者との面談や電話でのサポートを行い、必要な助 言や支援を提供します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0		保護者同士の交流会を実施しており、今後も計画的にイベント を開催予定です。父母が参加できるイベントもあります。	定期的に交流会を開催し、父母同士やきょうだいの交流の機会 を増やしていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0		相談があった場合、担当者が電話や面談で対応し、適切に対 応しています。	苦情対応体制を整備し、相談があった際には迅速かつ適切に 対応できるよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0		ブログの更新、イベントカレンダーの配布、わくわく通信や新聞 を発行し、随時情報を発信しています。	定期的に情報発信を行い、保護者への通知体制を強化。ブロ グの更新や各種資料を通じて活動内容をお知らせしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	0		個人情報の取扱いには十分留意しており、シュレッダーの使用 や、写真管理、必要時以外の情報の持ち出しを避けています。	個人情報の適切な管理を徹底し、シュレッダーの使用や専用収納で情報の漏洩防止を強化しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	0		それぞれのニーズに合わせて適切に対応し、情報伝達を行っ ています。	個別に配慮した方法で意思疎通を図り、情報伝達の工夫を続けています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に 開かれた事業運営を図っているか。		0	地域の人々との交流ができると良いと考えています。	地域住民との交流イベントを計画し、地域に開かれた事業運営 を推進していきます。
	40	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0		引き続きマニュアルを周知し、防災訓練を実施しています。	マニュアルの周知徹底と定期的な訓練を継続し、職員と家族の安全を守ります。
		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常 災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか。	0		防災訓練や避難訓練を定期的に実施し、継続的に行っていま す。	BCPに基づく訓練を定期的に実施し、非常災害時に備えて職員の対応力を強化します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認しているか。	0		見学や契約時に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこども の状況を確認しています。	見学や契約時に、こどもの健康状態や特別な配慮が必要な点を確認し、必要に応じて対応します。
非		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の 指示書に基づく対応がされているか。	0		食物アレルギーのあるこどもについて、保護者から事前に対応 を確認し、指示書を共有しています。	医師の指示書や保護者からの情報を基に、こどものアレルギー 対応を徹底し、必要な配慮を行っています。
常時等の対	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が 十分された中で支援が行われているか。	0		安全管理には十分に気を配っており、支援が安全に行われて います。	引き続き安全計画を遵守し、定期的な研修や訓練を通じて安全管理を徹底し、安心した支援環境を提供します。
応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が 図られるよう、安全計画に基づく取組内容につい て、家族等へ周知しているか。	0		安全計画に基づく取組内容について、家族等に周知しています。	引き続き、安全計画に基づいた取り組みを家族と連携し、安心 して利用いただける環境作りを進めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向 けた方策について検討をしているか。	0		ヒヤリハットを日報やグリッティで共有し、再発防止に取り組ん でいます。	引き続き、ヒヤリハットの情報を迅速に共有し、再発防止策を検討・実施して安全管理を強化していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	0		定期的な研修や動画研修を行い、虐待防止に取り組んでいま す。	今後も定期的な研修を継続し、職員全員が適切な対応を行え るようにサポートしていきます。
	04	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	0		身体拘束は、生命・身体保護のために緊急時に行い、職員間 で共通認識を持っています。保護者には事前に説明し、支援計 画に記録します。	引き続き、身体拘束についての適切な判断基準を職員全員で 共有し、保護者への事前説明を徹底し、支援計画に反映させて いきます。